



「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

〔第6回ワークショップ〕

エネルギーの将来はどうあるべきか

本プロジェクトの
マスコットキャラクター
ぷよたまくん



本事業は、経済産業資源エネルギー庁の支援を受けて実施しています。（事務局：（一財）日本立地センター）



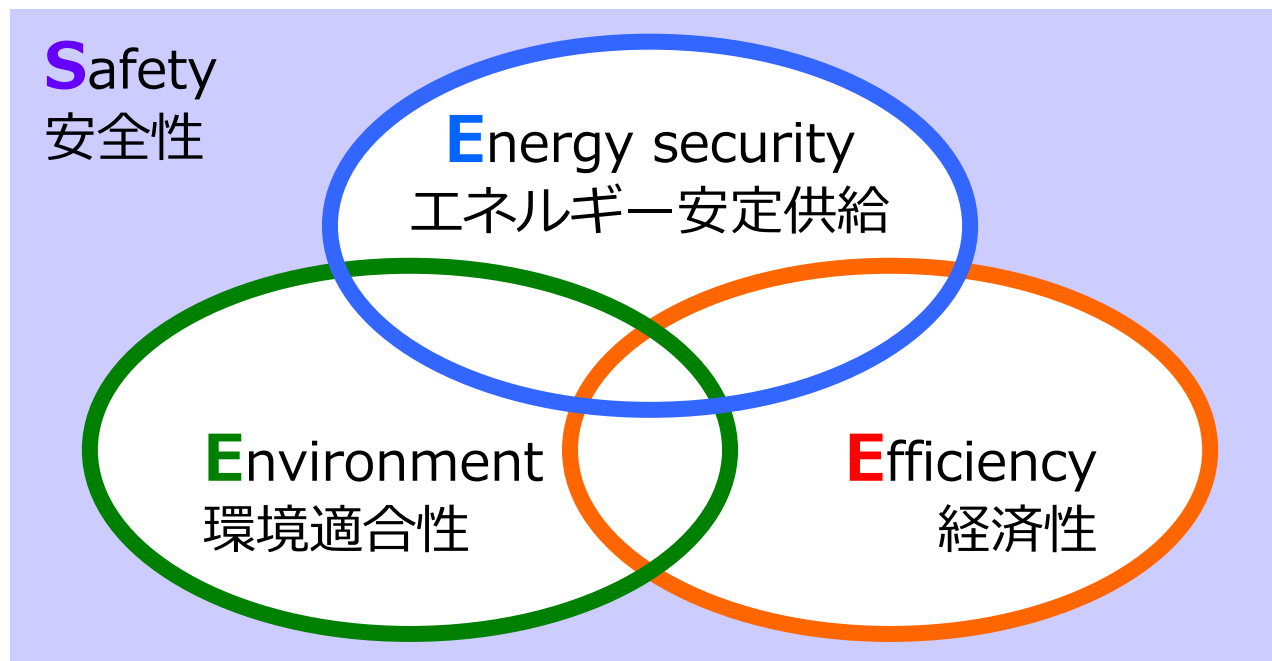
プロジェクトが目指すもの

- ▶ エネルギーについてよく知り、自分の意見を持った上で、周りの意見を尊重しながら、エネルギーの将来についての「合意」を目指して話し合う。
 - 最終的には、**2050年の日本のエネルギー構造**について考え、話し合う。それを目指してワークショップを進める。
 - もし合意が取れなかったとしても、「合意」を目指すためには、さらにどのような情報が必要になるのかを話し合う。プロジェクトでは合意を目指す、全6回のワークショップで必ず取らなければならないということはない。



エネルギーの将来を考える

- ▶ エネルギーの将来を考えるには、「3 E + S」が重要とはよく言われる。大前提のSに加え、3 Eのトリレンマを考えなければならない。



これで十分
…なのかな？





「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

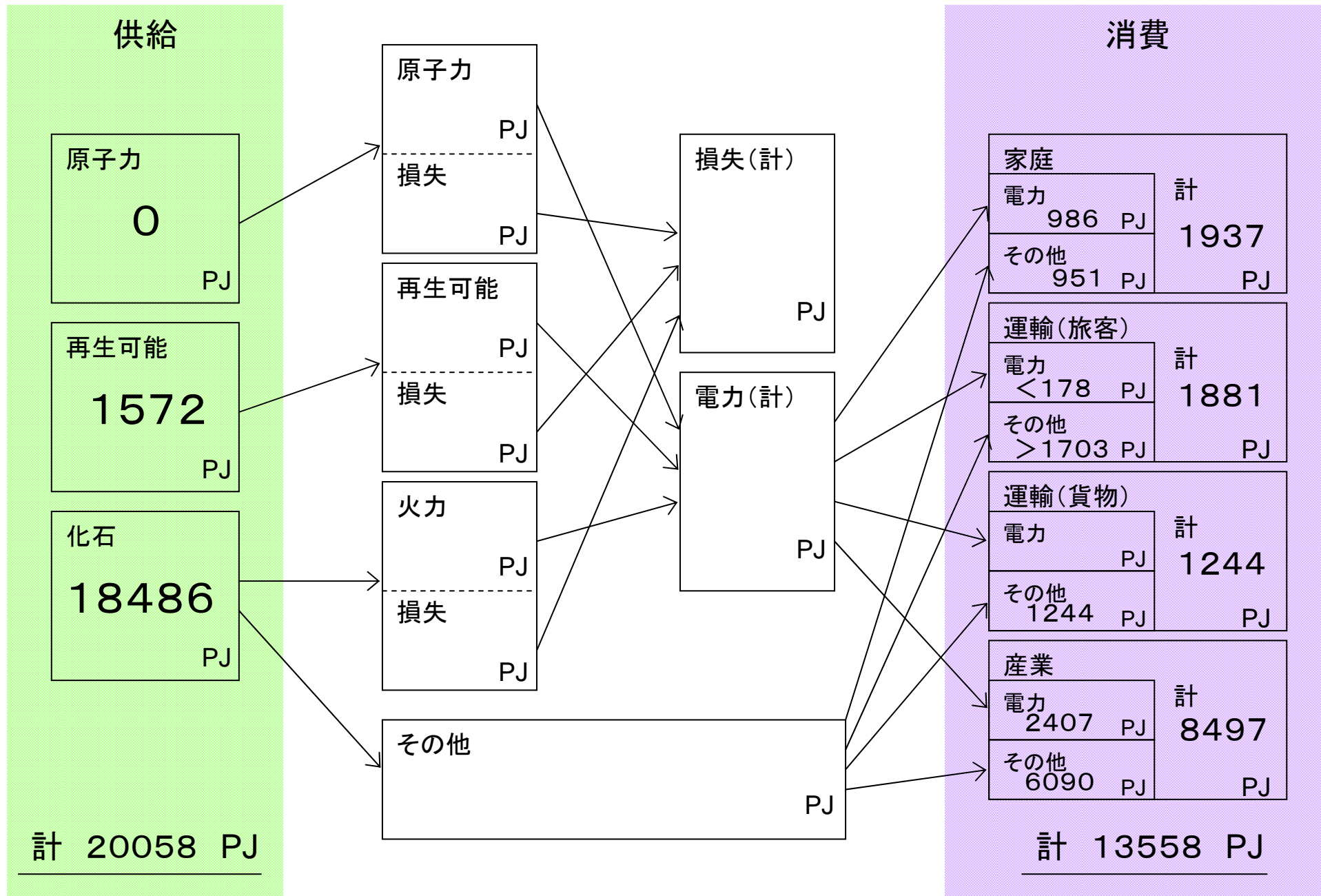
〔ステップ1 …15分〕

2050年のエネルギーフローを つくってみよう

1. 2050年のエネルギー消費量（希望）を記入します
2. エネルギー消費量の中の電力消費の割合を記入します
3. 電力の構成を記入して、損失量を計算します
4. エネルギー供給量を計算します



ちょっと複雑だけど・・・



2014年度

自給率: 6%

CO₂排出量: 107.3%
(1990年比)

コスト: 6万円/人・年



「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

〔ステップ2 …40分〕

エネルギーフローを共有します

- こだわったポイントは何かを簡単に話してください
- 低炭素ナビを使って、自給率・CO₂排出量・コストを見ます
- 自分の想定と比べて、どんな感想を持ったかを話しましょう
- 周りの人は、同感／違和感ポイントを整理しましょう





「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

〔ステップ3 …10分〕

2050年のエネルギーを考えるときに もっともこだわるポイントは？

- 自分がかもっとも「ゆずれない」ポイントを考えましよう
- なぜそのポイントがゆずれないのかを整理しましよう



しっかり考えよう！



「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

〔ステップ4 …残り時間〕

エネルギーの将来はどうあるべきか

- こだわりポイントを共有したあと、自由討議になります

スタッフが
ファシリテートします。

